

# 教育委員会資料

「川崎市総合計画」第3期実施計画・令和4年度  
事務事業評価結果について（教育委員会事務局に  
関する部分）

令和5年8月22日  
教育委員会事務局

# I 「川崎市総合計画」の概要

## 1 総合計画の趣旨

川崎市総合計画（平成 28（2016）年 3 月策定）は、子どもたちの笑顔があふれ、高齢者や障害者等、誰もが社会に貢献しながら生きがいを持つことができ、産業都市として力強く発展し続ける、そのような成長と成熟が調和し、誰もが幸せを感じられる川崎をめざし、「安心のふるさとづくり（成熟）」と「力強い産業都市づくり（成長）」の調和により、市政をバランスよく進めるために、策定したものです。

この計画の趣旨に基づき、『成長と成熟の調和による持続可能な最幸のまち かわさき』の実現をめざします。

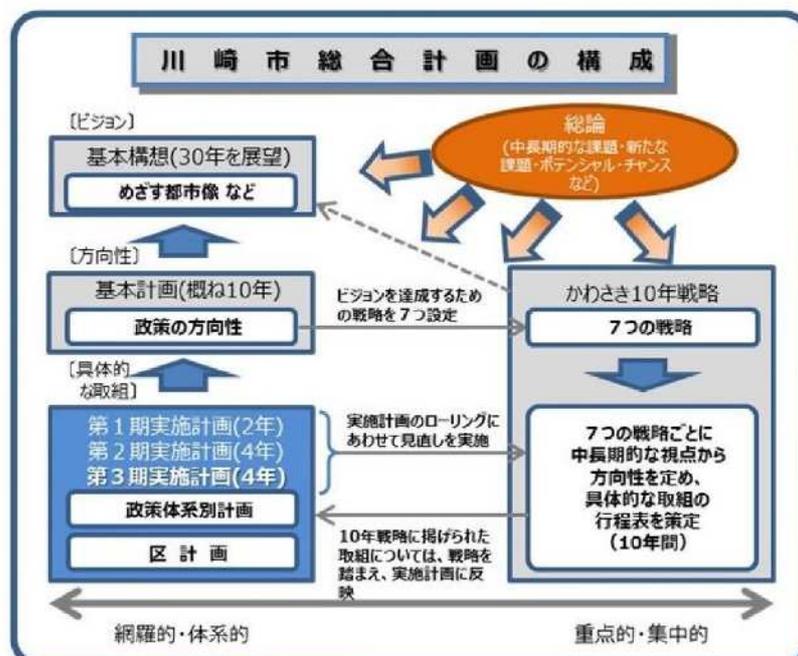
※「最幸」とは…川崎を幸せのあふれる「最も幸福なまち」にしていきたいという思いを込めて使用しています。

## 2 計画の構成

総合計画は、「基本構想」、「基本計画」、「実施計画」の3層構造としており、実施計画のローリングにより、社会経済状況の変化等に柔軟に対応していきます。

また、基本構想に掲げるめざす都市像等を実現するために、中長期的な課題等を踏まえて、「成長」と「成熟」のまちづくりに向けて、効果的な取組の考え方を明らかにする「かわさき 10 年戦略」を設定し、戦略的にまちづくりを進めていきます。

なお、総合計画に掲げるめざす都市像等については、急速な少子高齢化や人口減少に歯止めをかけ、将来にわたって活力ある日本社会の維持をめざす地方創生の考え方と重なることから、第 3 期実施計画は「川崎市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を兼ねるものとします。

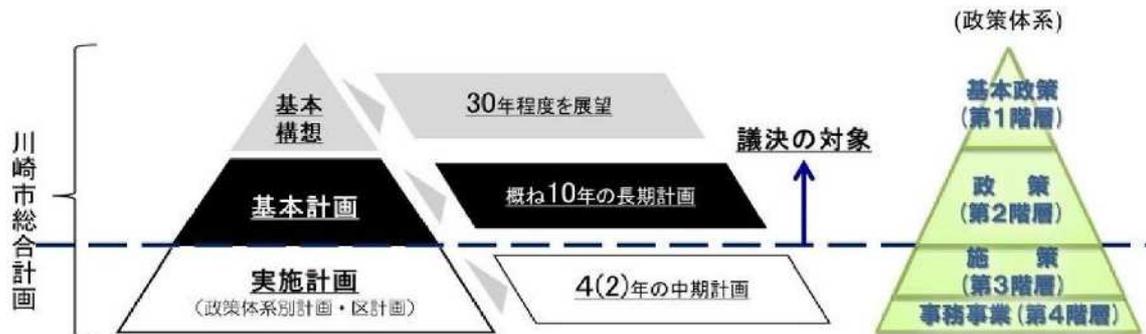


### 3 計画期間

「基本構想」は、今後 30 年程度を展望し、本市がめざす都市像や、まちづくりの基本目標、5 つの基本政策を定めるものです。

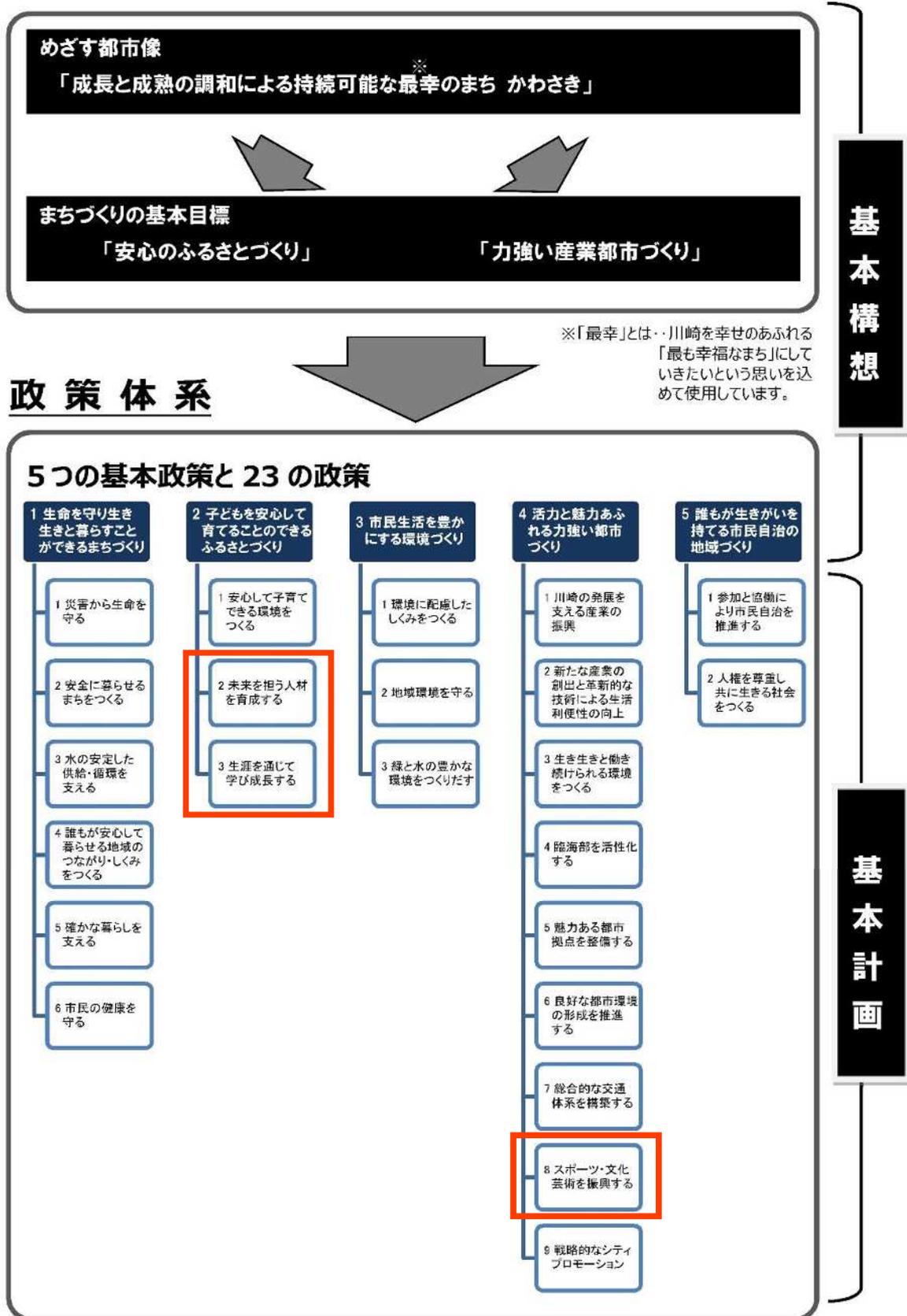
「基本計画」は、今後概ね 10 年間を対象として、「基本構想」に定める 5 つの基本政策を体系的に推進するために、23 の政策及びその方向性を明らかにするものです。

「実施計画」は、これらのビジョン・方向性に基づき、中期の具体的な取組を定めるもので、第 3 期実施計画の計画期間は令和 4（2022）年度から令和 7（2025）年度の 4 か年となります。



| 【「基本構想」「基本計画」「実施計画」の計画期間】 |                           |                 |                    |  |                |                   |  |                |  |
|---------------------------|---------------------------|-----------------|--------------------|--|----------------|-------------------|--|----------------|--|
|                           | H28年度<br>(2016)           | H29年度<br>(2017) | H30年度<br>(2018)    |  | R3年度<br>(2021) | R4年度<br>(2022)    |  | R7年度<br>(2025) |  |
| 基本構想                      | 川崎市 基本構想<br>30年程度を展望      |                 |                    |  |                |                   |  |                |  |
| 基本計画                      | 川崎市 基本計画<br>平成28年度から概ね10年 |                 |                    |  |                |                   |  |                |  |
| 実施計画                      | 第1期 実施計画                  |                 | 第2期 実施計画           |  |                | 第3期 実施計画          |  |                |  |
|                           | H28(2016)~H29(2017)       |                 | H30(2018)~R3(2021) |  |                | R4(2022)~R7(2025) |  |                |  |

## 4 基本構想で掲げる「めざす都市像」及び「まちづくりの基本目標」等



※23の政策のもとに、「実施計画」に位置づけられた74の「施策」と約570の「事務事業」が連なります。

## II 「川崎市総合計画」第3期実施計画・令和4年度事務事業 評価結果について（全体概要）

### 1 趣旨

「川崎市総合計画」第3期実施計画（以下「第3期実施計画」という。）における令和4年度事務事業評価結果を取りまとめました。

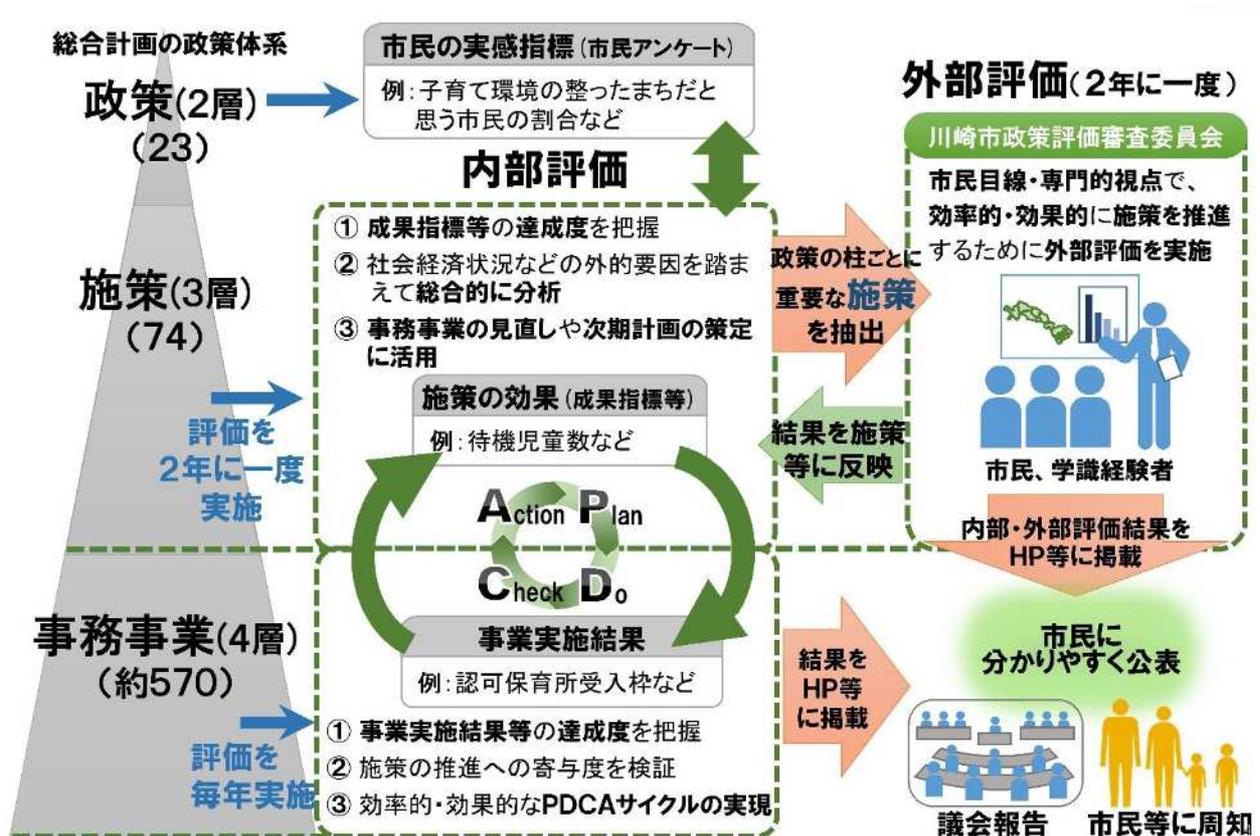
### 2 川崎市総合計画における進行管理・評価（全体概要）

総合計画では、どのように市の取組を推進すれば、よりよい成果が得られるかなどについて、市民の実感も踏まえて、内部・外部の視点により検証しながら進行管理を実施しています。

#### （1）施策・事務事業の評価

- 施策の評価については、施策ごとに設定した成果指標等を活用し、市の取組とその効果との関係を中期的な視点で検証しながら、効果的な事業の見直しや次期計画の策定につなげるため、2年に一度実施します。
- 事務事業の評価については、着実な進行管理を行うために、毎年実施します。

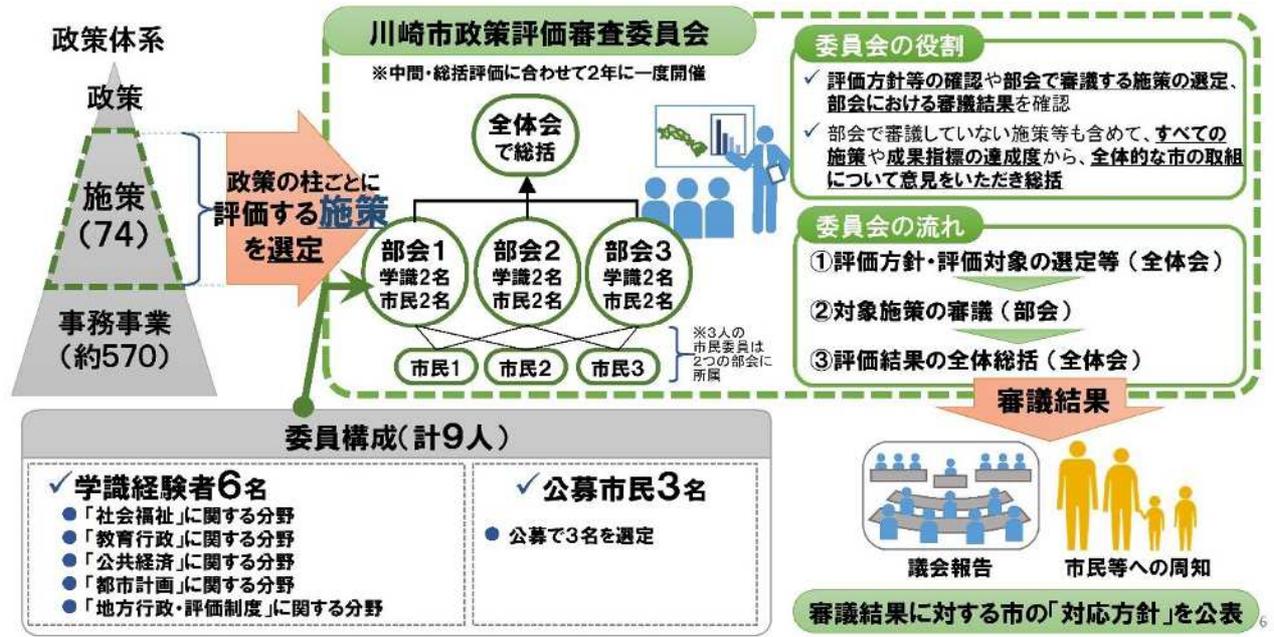
＜図1 総合計画における進行管理の全体概要＞



## (2) 川崎市政策評価審査委員会による外部評価

- 総合計画における重要な政策等の評価に関して調査審議するため、学識経験者6名と公募市民3名で構成する「川崎市政策評価審査委員会」を設置しており、施策の評価の実施に合わせて、2年に一度、学識経験者の専門的視点や市民目線による外部評価を実施します。

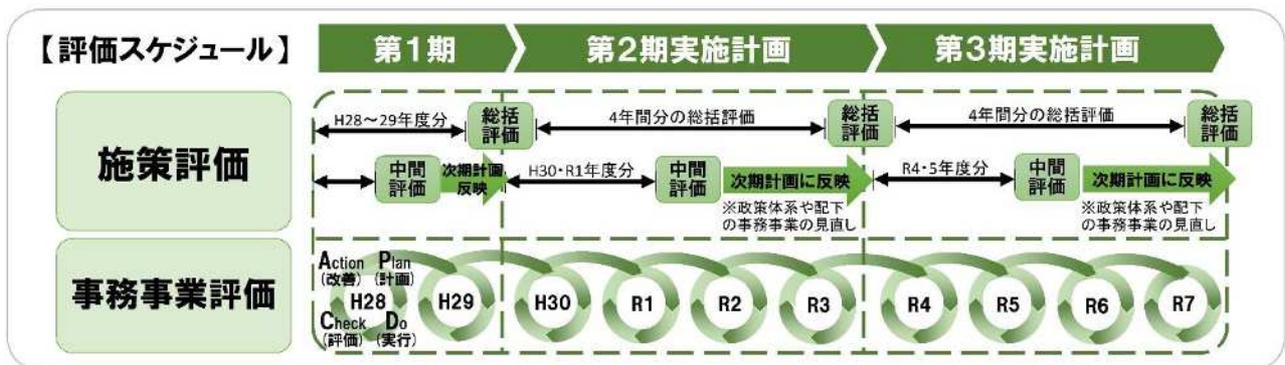
<図2 川崎市政策評価審査委員会の概要>



## 3 令和4年度の進行管理・評価

第3期実施計画の計画期間の初年度に当たる令和4年度は、事務事業について内部評価を実施しました。

<図3 評価スケジュール>



## 4 公表スケジュール

令和5年8月25日(金) 市議会報告、報道機関への情報提供、市ホームページへの掲載

### III 「川崎市総合計画」第3期実施計画・令和4年度事務事業評価結果について（教育委員会事務局）

#### 1 趣旨

第3期実施計画における、教育委員会事務局の令和4年度の事務事業評価結果を取りまとめました。

#### 2 第3期実施計画・令和4年度事務事業評価結果（概要）

第3期実施計画に基づく施策に位置付けられた事務事業のうち、**教育委員会事務局が所管する事務事業は45事業あり、そのうち目標を上回ったものは1事業、目標をほぼ達成したものは33事業、目標を下回ったものは11事業**ありました。（表1）。

表1 施策に位置付けられた事務事業の達成状況区分別 事業数と構成比（教育委員会事務局）

| 達成状況区分 |              | 内容   | 事業数 | 構成比(%) |
|--------|--------------|--|-----|--------|
| 1      | 目標を大きく上回って達成 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・目標に明記した期日よりも相当早く達成し、そのことによりコスト面や市民サービスに大きく貢献した。</li> <li>・目標に明記した内容よりも相当高い水準であった。</li> <li>・目標に明記した数値を大きく上回った。</li> </ul>                                  | 0   | 0.0%   |
| 2      | 目標を上回って達成    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・目標に明記した期日よりも早めに達成し、そのことによりコスト面や市民サービスに貢献した。</li> <li>・目標に明記した期日どおり達成し、明記した内容よりも高い水準であった。</li> <li>・目標に明記した数値を上回った。</li> </ul>                              | 1   | 2.2%   |
| 3      | 目標をほぼ達成      | <ul style="list-style-type: none"> <li>・目標に明記した期日、内容どおりに達成した。</li> <li>・途中で多少の遅れはあったものの、最終期限には間に合う形で、目標に明記した内容どおりに達成した。</li> <li>・目標に明記した数値とほぼ同じであった。</li> <li>・おおむね適正に処理し業務遂行に支障がなかった。</li> </ul> | 33  | 73.3%  |
| 4      | 目標を下回った      | <ul style="list-style-type: none"> <li>・目標に明記した内容は達成したが、期日が遅れた。</li> <li>・目標に明記した期日どおりであったが、明記した内容に満たない水準であった。</li> <li>・目標に明記した数値を下回った。</li> <li>・所定の期日に間に合わないなど、業務を適正に処理できなかった。</li> </ul>       | 11  | 24.5%  |
| 5      | 目標を大きく下回った   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・目標に明記した期日よりも遅れ、明記した内容に満たない水準であった。</li> <li>・目標に明記した数値を大きく下回った。</li> </ul>  | 0   | 0.0%   |
| 合計     |              |  | 45  | 100.0% |

# 令和4年度の主な事務事業の評価結果一覧(教育委員会事務局)

| 番号 | 事務事業コード  | 事務事業名            | サービス分類 | 事務事業の概要<br>(簡潔に記載)  | 主な取組の実績  | 事業費<br>(千円) |             | 事業の達成度 | 参考資料掲載頁 |
|----|----------|------------------|--------|---|--|-------------|-------------|--------|---------|
|    |          |                  |        |   |  | 予算額         | 決算額<br>(見込) |        |         |
| 1  | 20201010 | キャリア在り方生き方教育推進事業 | その他    | 将来の社会的自立に必要な能力や態度を育む教育を全校でより効果的に実践するため、啓発資料の配布や研修により、「キャリア在り方生き方教育」についての理解を深めるとともに、指導体制の構築や、家庭との連携を図ります。  | <ul style="list-style-type: none"> <li>●各校におけるキャリア在り方生き方教育の実施(担当者研修会:3回、学校等訪問研修会:135回)</li> <li>●「多様性を尊重する教育の実践事例集」の作成・配布</li> <li>●「キャリア在り方生き方ノート」に、新しく「市制100周年」「SDGs」「かわさきパラムーブメント」に関するページを追加。「キャリアパスポート」とともに配布し、教職員の活用を支援</li> <li>●研究推進校(東小倉小学校・宮内中学校)の研究を支援し、情報交換会を3回、研究推進校報告会を1回実施</li> <li>●市制100周年との関係について理解を深めることができる保護者向けリーフレットを作成・配布</li> </ul> | 6,254       | 6,660       | 3      | P2      |
| 2  | 20201020 | 学力調査・授業改善研究事業    | その他    | 子どもたちの資質・能力の定着状況を把握するために調査・研究を行い、その結果を活用して、子どもたちが「分かる」を実感できる授業づくりを推進します。  | <ul style="list-style-type: none"> <li>●市学習状況調査・市学習診断テストの実施</li> <li>●「生活や学習に関するアンケート」調査の実施及び調査結果の活用</li> <li>●モデル校(小学校2校、中学校1校)での研究成果のもと、新しい市学習状況調査の調査項目、実施方法、活用方法等を決定</li> <li>●令和4年度全国学力・学習状況調査の実施と、全国学力学習状況調査、市学習状況調査の結果に基づいた担当者会(調査結果説明・授業改善に向けた取組)を動画配信にて実施</li> <li>●学習指導要領の改訂内容に対応した実践事例集の作成・配布</li> </ul>   | 61,445      | 58,312      | 3      | P4      |
| 3  | 20201030 | きめ細かな指導推進事業      | その他    | 習熟の程度に応じた、きめ細かな指導の充実のために、より有効な指導形態や指導方法について研究実践を進めます。   | <ul style="list-style-type: none"> <li>●GIGA端末のドリルソフトを活用したきめ細やかな指導の情報共有と担当者会の実施</li> <li>●小中9年間を見通した算数・数学の習熟の程度に応じた指導の実施</li> <li>●「きめ細やかな指導 実践編」の冊子・映像教材の活用や各校種での事例の情報共有</li> <li>●学校の実情に応じた少人数指導・少人数学級等の実施と各学校の取組の共有</li> </ul>  | 129,211     | 113,385     | 3      | P6      |
| 4  | 20201040 | 英語教育推進事業         | その他    | 外国人と直接コミュニケーションを図る機会を増やし、異文化を受容する態度を育成するため、研修の充実により教員の指導力の向上を図るとともに、外国語指導助手(ALT)を活用する等、英語教育を推進します。  | <ul style="list-style-type: none"> <li>●英語教育推進リーダーによる研修会講師等への活用推進</li> <li>●ALTの配置・活用による英語教育の推進(小・中学校107名、高等学校6名)</li> <li>●中核英語教員(CET)への研修(3回)を実施し、小学校におけるCETを中心とした指導体制を整備</li> <li>●外国語教育指導力向上研修(中学校2回、高等学校2回)を実施</li> <li>●大学と連携した講座(英語二種免許取得講習受講者数2名)や外部試験受験の促進</li> <li>●小学校英語強化教員(ERT)と学級担任との連携による英語授業力向上(ERT配置校:64校)</li> </ul>                     | 549,414     | 532,937     | 3      | P8      |
| 5  | 20201050 | 理科教育推進事業         | その他    | 理科支援員の配置や中核的理科教員(CST)の養成などにより、若い教員の授業力向上や観察・実験の機会の充実を図り、子どもたちが興味・関心を持って主体的に学習に取り組める魅力ある理科教育を推進します。また、企業や研究機関、大学と連携して、技術者、研究者による派遣授業などの実施を支援します。 | <ul style="list-style-type: none"> <li>●理科支援員の全小学校配置による理科教育の推進</li> <li>●横浜国立大学との共同による中核的理科教員(CST)養成プログラムの実施とCSTの活動の充実(CST養成数:74人、CSTIによる研修数:6回)</li> <li>●先端科学技術者の派遣授業の実施(実施回数:20回)</li> </ul>  | 17,084      | 17,012      | 3      | P10     |
| 6  | 20201070 | 読書のまち・かわさき推進事業   | その他    | 子どもから大人までが読書に親しめるよう、様々な読書活動を推進するため、学校司書の配置による読書環境の整備など、「読書のまち・かわさき子ども読書活動推進計画」に基づく取組を推進します。   | <ul style="list-style-type: none"> <li>●「読書のまち・かわさき子ども読書活動推進計画」に基づく、家庭・地域・学校における読書活動の推進</li> <li>●総括学校司書の配置(21校)及び学校司書の配置(70校)</li> <li>●図書ボランティアによる学校図書館の環境整備や読み聞かせ等により読書活動を推進</li> <li>●司書教諭等の研修の実施(30回)</li> <li>●児童生徒(学校)の表彰、川崎フロンターレ等との協働した取組の実施</li> </ul>   | 60,107      | 58,709      | 3      | P12     |

| 番号 | 事務事業コード  | 事務事業名        | サービス分類 | 事務事業の概要<br>(簡潔に記載)   | 主な取組の実績   | 事業費<br>(千円) |             | 事業の<br>達成度 | 参考資料<br>掲載頁 |
|----|----------|--------------|--------|--|---|-------------|-------------|------------|-------------|
|    |          |              |        |  |   | 予算額         | 決算額<br>(見込) |            |             |
| 7  | 20201080 | 子どもの音楽活動推進事業 | イベント等  | 音楽のすばらしさを味わい、体験することを通して、子どもたちの豊かな感性を育み、生涯を通じて音楽を愛好する心情を育てられるよう、本格的なオーケストラ鑑賞や、市内の貴重な音楽資源を活用した音楽の体験活動を推進します。 | <ul style="list-style-type: none"> <li>●「子どものためのオーケストラ鑑賞」を、新型コロナウイルス感染症対策を行いながら実施(計11,420人)</li> <li>●「子どもの音楽の祭典」を、新型コロナウイルス感染症対策を行いながら実施</li> <li>●「ジュニア音楽リーダー」の実施(目標20校に対して、学校の参加希望日程が折り合わず、17校で実施)</li> </ul>  | 28,281      | 27,777      | 3          | P14         |
| 8  | 20201090 | 人権尊重教育推進事業   | その他    | 人権尊重教育を意識した教育活動や研修等を行うことで、児童生徒、教職員、保護者の人権感覚を育み、人権意識の向上及び「子どもの権利に関する条例」の周知と正しい理解の促進を図ります。                   | <ul style="list-style-type: none"> <li>●人権尊重教育推進会議の書面開催(1回実施)</li> <li>●教職員を対象とした研修の実施(研修参加者数:延べ3,267人)</li> <li>●人権教育補助教材や子どもの権利学習資料、「川崎市差別のない人権尊重のまちづくり条例」リーフレット等の活用</li> <li>●子どもの権利学習派遣事業の実施(派遣学級数:150学級)</li> </ul>  | 7,284       | 6,576       | 3          | P16         |
| 9  | 20201100 | 多文化共生教育推進事業  | その他    | 児童生徒の異文化理解と相互尊重を目的とした学習を推進し、多文化共生と多様性を尊重した意識と態度の育成を図ります。   | <ul style="list-style-type: none"> <li>●民族文化の紹介や指導等を行う外国人市民等を「民族文化講師」として派遣(87校、延べ252人)</li> <li>●外国人教育推進連絡会議の書面開催を通じた情報交換(1回実施)</li> <li>●「学校の中でできる多文化ふれあい交流会」をオンラインで開催(1回実施)</li> </ul>  | 1,188       | 1,523       | 3          | P18         |
| 10 | 20201110 | 子どもの体力向上推進事業 | その他    | 児童生徒の健全な心身の育成を目指し、地域スポーツ人材を活用しながら学校体育活動を充実するなど、児童生徒の体力向上につながる取組を進めます。                                      | <ul style="list-style-type: none"> <li>●中学校総合体育大会と小学校陸上記録会を実施(市立小学校地区別運動会は中止)</li> <li>●「キラキラタイム」の成果を競う「kawasaki キラキラ みんなでチャレンジ」を実施(36校)</li> <li>●部活動指導員を派遣(3校で複数配置を達成したが、目標55人に対して実績50人)</li> </ul>   | 68,896      | 64,858      | 4          | P20         |
| 11 | 20201120 | 健康教育推進事業     | その他    | すこやかな学校生活を送るため、健康診断や健康管理の実施、学校医等の配置を行います。また、望ましい生活習慣の確立、心の健康保持、喫煙・飲酒・薬物乱用防止等、健康教育の充実を図ります。                 | <ul style="list-style-type: none"> <li>●喫煙・飲酒・薬物乱用防止等の健康教育の推進(薬物乱用防止教室は、実施を予定していた57校全校において実施)</li> <li>●アレルギー疾患への適切な対応のための研修の実施</li> <li>●学校保健安全法に基づく各種健康診断の実施</li> <li>●スクールヘルスリーダー派遣による若手の養護教諭等への支援(6校へ派遣)</li> </ul>   | 632,154     | 785,458     | 3          | P22         |
| 12 | 20201140 | 健康給食推進事業     | その他    | 児童生徒の健全な身体の発達に資するために、安全で安心な学校給食の提供を効率的に行うとともに、小中9年間にわたる一貫した食育を推進します。                                       | <ul style="list-style-type: none"> <li>●「かわさきそだち」の野菜を使用するなど、川崎らしい特色ある「健康給食」の推進</li> <li>●学校間の連携強化等による小中9年間にわたる体系的・計画的な食育の推進</li> <li>●中学校給食の円滑な実施</li> <li>●小学校及び特別支援学校の老朽機器更新による給食の実施(機器更新:25校、新規委託:3校)</li> <li>●学校給食会の運営支援</li> <li>●学校給食費の適正な徴収</li> </ul>  | 11,378,875  | 11,179,330  | 3          | P24         |
| 13 | 20201150 | 教育の情報化推進事業   | その他    | 「川崎市立学校における教育の情報化推進計画」に基づき、ICT機器整備や学校業務の効率化に向けた取組を推進します。   | <ul style="list-style-type: none"> <li>●「川崎市立学校における教育の情報化推進計画」に基づく19の重点事項における各事務事業の推進及び次期計画の策定</li> <li>●情報化推進モデル校2校において児童生徒の学校生活と学習の状況を把握し、指導や評価にいかすための研究及び研究報告の実施</li> <li>●情報モラル教育の充実と家庭との連携推進のため、希望研修を1回、リクエスト研修を5回実施</li> <li>●学習活動等で必要となるICT機器の更新・整備について、小・中学校各1校の機器更新を実施</li> <li>●校務支援システムの活用を中心とした教職員の働き方改革の推進について、効率的な帳票作成を目的とした研修を4回行うとともに、資産管理システムによる外部可搬媒体の制御による適切な活用を推進</li> <li>●ネットワーク環境の充実に向けた取組の推進について、国の動向を注視しながら、ネットワーク環境のあり方について検討を継続</li> </ul> | 1,668,699   | 1,623,671   | 3          | P26         |

| 番号 | 事務事業コード  | 事務事業名              | サービス分類 | 事務事業の概要<br>(簡潔に記載)   | 主な取組の実績   | 事業費<br>(千円) |             | 事業の<br>達成度 | 参考資料<br>掲載頁 |
|----|----------|--------------------|--------|--|---|-------------|-------------|------------|-------------|
|    |          |                    |        |  |   | 予算額         | 決算額<br>(見込) |            |             |
| 14 | 20201155 | かわさきGIGAスクール構想推進事業 | その他    | 「かわさきGIGAスクール構想」に基づき、全ての子どもたちの可能性を引き出す個別最適な学びと協働的な学びの実現に向けて、児童生徒の情報活用能力の育成、教員の指導力の向上、スタディ・ログの効果的な活用等の取組を推進します。 | <ul style="list-style-type: none"> <li>●推進協力校13校、研究推進校1校における支援を通して、かわさきGIGAスクール構想ステップ2の実現に向けた研究を推進するとともに、授業公開等を通して研究成果を横展開</li> <li>●教育委員会内の他部署と連携して「かわさきGIGAスクール構想教職員向けハンドブックステップ3」を作成</li> <li>●小・中・特別支援学校へICT支援員を派遣(計1,690回)</li> <li>●教職員のニーズやステージに応じて、希望研修を20回、リクエスト研修を6回実施</li> <li>●デジタル教科書の活用に向け、国の実証事業に参加するとともに、研修会を1回開催。庁内各部署のデジタル副読本作成を支援し、8つの副読本をサイトに掲載</li> <li>●市・学校・学級・個人単位でのスタディ・ログの活用に向けた研究を行い、データ活用について学校でGIGAスクール構想を推進する教師(GSL)に研修を実施</li> <li>●年度当初の児童生徒数の増加及び年度途中の追加にも迅速にGIGA端末を追加対応するとともに、通信環境についても適切な保守・管理を実施</li> </ul> | 1,454,095   | 1,978,853   | 3          | P28         |
| 15 | 20201160 | 魅力ある高校教育の推進事業      | その他    | 「市立高等学校改革推進計画」に基づき、生徒・保護者・市民のニーズに応じた魅力ある高校づくりを進めるとともに、川崎高等学校及び附属中学校における中高一貫教育や、定時制課程の生徒の自立支援の推進を図ります。          | <ul style="list-style-type: none"> <li>●図書館開放を実施(248日)。開放講座は、6回の開催を予定していたところ、開催を中止し、聴講生制度の講座は、計画どおり実施</li> <li>●定時制課程の生徒の将来の自立に向け、4校で相談・支援を実施</li> <li>●かわさきSDGsパートナー等と連携し、探究的な学習の時間やインターンシップの充実など取組を推進</li> </ul>  | 24,491      | 22,640      | 4          | P30         |
| 16 | 20201180 | 道徳教育推進事業           | その他    | 児童生徒が、生命を大切にする心や他者と協調し他人を思いやる心、善悪の判断などの規範意識等の道徳性を養うことができるよう、「特別の教科道徳」を要として、学校教育全体を通じて行う道徳教育の充実を図ります。           | <ul style="list-style-type: none"> <li>●学習指導要領改訂の趣旨を踏まえ、担当者の研修を双方向型オンラインで2回実施</li> <li>●教員経験5年目以下の教員(約250名)を対象とした研修を2回実施(講演会と授業研究会)</li> </ul>  | 154         | 154         | 3          | P32         |
| 17 | 20202020 | 特別支援教育推進事業         | その他    | 「第2期特別支援教育推進計画」に基づき、共生社会の形成を目指した支援教育の推進や、教育的ニーズに応じた多様な学びの場の整備、小・中・高等学校における支援体制の構築、教職員の専門性の向上等を図ります。            | <ul style="list-style-type: none"> <li>●特別支援学校のセンター的機能による訪問支援(117校)と通級指導教室のセンター的機能による訪問支援(1,395回)</li> <li>●小・中学校通級指導教室の運営及び国等の動向を見据えながらの運営改善の検討</li> <li>●個別の指導計画の作成及びサポートノートを活用した切れ目のない適切な引継ぎの促進</li> <li>●特別支援教育研修の実施による専門性の向上</li> <li>●医療的ケアを必要とする児童生徒の支援の実施(33名)と支援体制の充実</li> <li>●長期入院・入所児童生徒への学習支援の実施</li> <li>●小・中・高等学校への特別支援教育サポーターの配置(18,781回)</li> <li>●児童生徒の実態に応じた交流及び共同学習の実施</li> <li>●一人ひとりの教育的ニーズに応じた適切な就学相談の実施</li> </ul>  | 663,844     | 570,979     | 3          | P36         |

| 番号 | 事務事業コード  | 事務事業名               | サービス分類 | 事務事業の概要<br>(簡潔に記載)  | 主な取組の実績   | 事業費<br>(千円) |             | 事業の<br>達成度 | 参考資料<br>掲載頁 |
|----|----------|---------------------|--------|---|---|-------------|-------------|------------|-------------|
|    |          |                     |        |   |   | 予算額         | 決算額<br>(見込) |            |             |
| 18 | 20202030 | 共生・共育推進事業           | その他    | 豊かな人間関係を育む「かわさき共生・共育プログラム」を実践し、いじめ・不登校の未然防止等を図ります。また、プログラムの「効果測定」の活用により、子どもへの理解を深め、児童生徒指導の充実を図ります。  | <ul style="list-style-type: none"> <li>●かわさき共生・共育プログラムの授業について、例年の授業(年間6時間)に加え、新たにSOSの出し方・受け止め方教育のエクササイズを開発し、全市立学校175校で授業を実施</li> <li>●年間2回のかわさき共生・共育プログラム推進担当者研修会(4月、8月)の実施</li> <li>●研究協力校を含む要請校内研修等を実施(延べ84回)するとともに、協力校情報交換会で新しい効果測定アンケートの実施に向けたモデル実施の検証を行い、効果測定アンケートに児童生徒の抑うつ傾向を測る新規項目を追加</li> </ul>   | 4,547       | 4,563       | 2          | P39         |
| 19 | 20202040 | 児童生徒支援・相談事業         | その他    | 不登校やいじめの問題への対応とともに、子どもたちの豊かな心を育むため、支援教育コーディネーターやスクールカウンセラー等を配置し、活用を図ります。また、子どもが置かれている環境の調整を行うスクールソーシャルワーカーを各区に配置し、関係機関との連携により児童生徒の抱える課題の解決を支援します。 | <ul style="list-style-type: none"> <li>●市立小・中・高・特別支援学校に支援教育コーディネーターを配置し、新任研修7回を含む研修を実施</li> <li>●要請派遣であった学校巡回カウンセラーを市立小学校に月2回程度定期派遣開始(各学校年間21回)</li> <li>●スクールカウンセラースーパーバイザーを拡充し、スクールカウンセラーに対する支援強化</li> <li>●スクールソーシャルワーカーの派遣による、関係部署や関係機関と連携した適切な支援(配置人数:11人)</li> <li>●多様な相談機能による相談支援の実施</li> <li>●本事業の取組については、おおむね予定通り実施したものの、教育相談室については、申込から相談までの待機日数が長期化</li> </ul> | 665,790     | 623,004     | 4          | P41         |
| 20 | 20202050 | 教育機会確保推進事業          | その他    | 不登校の児童生徒の居場所として「ゆうゆう広場」を運営し、きめ細かな相談活動を通して、状況の改善を図り、社会的自立につなげるとともに、中学校夜間学級の運営を行い、教育の機会確保を図ります。   | <ul style="list-style-type: none"> <li>●不登校児童生徒の社会的自立に向けた支援のための居場所としてのゆうゆう広場の運営(登録者数:202名)</li> <li>●子どもたちの目線により近い支援・相談のためのメンタルフレンドの募集・配置と子どもたちの活動支援(メンタルフレンド配置数:延べ17名)</li> <li>●西中原中学校夜間学級の運営及び希望者に対する入学・編入相談の充実</li> <li>●GIGA端末を活用し、長期欠席・不登校等の児童生徒へオンライン学習システムのアカウントを配布</li> <li>●不登校支援の充実に向け、不登校特例校の先行事例の視察やヒアリング、ICTの活用を検討等を実施</li> </ul>                           | 82,198      | 81,074      | 3          | P43         |
| 21 | 20202060 | 海外帰国・外国人児童生徒相談・支援事業 | その他    | 海外帰国・外国人児童生徒に対する日本語指導や学習支援等の充実を図るなど、多様なニーズに応じた支援を行います。  | <ul style="list-style-type: none"> <li>●各区教育担当や教育政策室、学校で教育相談を行い、日本語指導初期支援員を配置(新規配置235人分)</li> <li>●国際教室担当者連絡協議会の実施(5回)及び日本語指導非常勤講師研修の実施(5回、うち3回は合同研修)</li> <li>●国際教室担当者及び非常勤講師の巡回により、日本語指導が必要な児童生徒がいる全ての学校で、特別の教育課程による日本語指導を実施</li> <li>●希望する学校等に通訳機器を配置(新規20台、計176台)</li> <li>●学校等へ通訳者の派遣等の支援(412件)</li> <li>●プレスクールを全区で開催(32組参加)</li> </ul>                             | 90,306      | 101,809     | 3          | P45         |
| 22 | 20202070 | 就学等支援事業             | その他    | 就学援助費や特別支援教育就学奨励費、高等学校奨学金など、経済的支援を行うとともに、法令等に基づく、就学事務を適正に執行します。   | <ul style="list-style-type: none"> <li>●就学援助については、経済的に困窮している保護者に対して必要な援助を実施</li> <li>●特別支援就学奨励費については、特別支援学級等に在籍する児童生徒の保護者に対して就学奨励費を交付</li> <li>●奨学金については、修学困難な生徒に対する経済的支援を実施</li> <li>●就学事務システムを活用し、就学事務を円滑に実施</li> </ul>   | 1,294,192   | 1,159,252   | 3          | P47         |
| 23 | 20203010 | 学校安全推進事業            | その他    | スクールガード・リーダーや地域交通安全員を配置し、登下校時の交通事故等、地域における様々な危険から子どもたちを守る取組を推進します。また、学校防災教育研究推進校による先進的な研究の推進や成果の共有等により、各学校の防災力の向上を図るとともに、子どもたちの防災意識を高めます。         | <ul style="list-style-type: none"> <li>●学校を巡回し、通学路の危険か所のチェックや防犯対策を行うスクールガード・リーダーの配置(全市で25名)</li> <li>●踏切等の危険か所への地域交通安全員の適正な配置</li> <li>●通学路安全対策会議での議論を踏まえた危険か所の改善の推進</li> <li>●学校防災教育研究推進校(7校)による先進的な研究の推進や、各学校の実態に応じた防災教育の推進</li> </ul>  | 108,422     | 97,626      | 3          | P49         |

| 番号 | 事務事業コード  | 事務事業名                | サービス分類   | 事務事業の概要<br>(簡潔に記載)   | 主な取組の実績  | 事業費<br>(千円) |             | 事業の<br>達成度 | 参考資料<br>掲載頁 |
|----|----------|----------------------|----------|--|--|-------------|-------------|------------|-------------|
|    |          |                      |          |  |  | 予算額         | 決算額<br>(見込) |            |             |
| 24 | 20203020 | 学校施設長期保全計画推進事業       | 施設の管理・運営 | 既存学校施設の改修(再生整備・予防保全)により、老朽化対策、教育環境の質的向上及び環境対策を計画的に実施し、より多くの学校の教育環境を早期かつ効率的に改善するとともに、長寿命化を推進します。                    | ●学校施設の長寿命化・再生整備の推進<br>・校舎の工事(17校)<br>・体育館の工事(3校)<br>●給水管の適切な更新については、入札不調により工事への着手が遅れたため、令和5年度中に工事完了予定(目標2校に対して実績0校)  | 2,989,373   | 8,311,321   | 4          | P51         |
| 25 | 20203030 | 学校施設環境改善事業           | 施設の管理・運営 | 教育環境の向上を目指し、トイレの快適化やバリアフリー化、普通教室の空調設備の更新等を進めます。また、地域の防災力の向上に向け、非構造部材の耐震化など、学校施設の防災機能の強化を図ります。                      | ●学校トイレの環境整備の推進(全校完了:175校)<br>●既存校のエレベータ設置の推進(計画169校に対して実績169校完了)<br>●普通教室の空調設備の更新について、令和5年1月に「川崎市立小中学校空調設備更新整備等事業実施方針」を策定<br>●非常用発電機等の適正な維持を実施                               | 1,655,995   | 3,084,241   | 3          | P53         |
| 26 | 20203040 | 学校施設維持管理事業           | 施設の管理・運営 | 学校施設・設備の保守・点検や維持管理、補修などを計画的に実施します。   | ●学校施設・設備の保守・点検や維持管理、補修などの実施<br>●学校施設への包括管理委託の導入に向けて調整及び検討を進め、令和5年3月に「麻生区内学校施設包括管理業務実施方針」を策定<br>●西有馬小について、民間プール施設を活用することを決定   | 3,763,264   | 3,559,478   | 3          | P55         |
| 27 | 20203050 | 児童生徒数・学級数増加対策事業      | 施設の管理・運営 | 児童生徒数の増加や義務標準法改正(35人学級の段階的な実施)に的確に対応するため、各学校の児童生徒数の将来推計値に基づき、教室の転用、校舎の増改築、新校設置、通学区域の見直し等の適切な対応を図り、良好な教育環境の維持に努めます。 | ●住宅開発・人口動態を捉えた児童生徒数及び学級数の推計の実施<br>●児童生徒数の動向等に応じた地域ごとの対応の検討<br>●塚越地区における通学区域の見直し及び新川崎地区新設小学校開校に向けた実施設計<br>●校舎増築工事(完了:井田中、着手:坂戸小・新作小・南百合小)                                     | 3,469,971   | 3,020,613   | 3          | P57         |
| 28 | 20204010 | 地域等による学校運営への参加促進事業   | その他      | 学校・家庭・地域社会が一体となってよりよい教育の実現を目指し、学校運営協議会(コミュニティ・スクール)を拡充するとともに、その取組の成果を他の学校に波及させることで、「地域とともにある学校づくり」を推進します。          | ●学校運営協議会(40校)と学校教育推進会議(134校)の実施<br>●学校運営協議会(40校)の運営支援と次年度設置予定校(48校)への設置に向けた支援<br>●コミュニティ・スクール連絡会の開催及びリーフレットを活用した実践成果の普及・啓発   | 5,627       | 2,990       | 3          | P59         |
| 29 | 20204030 | 地域に開かれた特色ある学校づくり推進事業 | その他      | 地域人材の活用を図るとともに、学校の自主性・自律性を高めるなど、特色ある学校づくりを進めます。また、区・教育担当を中心に、関係機関と連携しながら、学校と地域との連携の強化や学校へのきめ細かな支援を推進します。           | ●「夢教育21推進事業」を全校で実施<br>●全校で自己評価及び学校関係者評価を実施<br>●ボランティアコーディネーターを134校に配置<br>●小中連携教育担当者会での情報共有や小中連携教育実践報告での効果的な取組の共有<br>●地域支援課や児童相談所等の関係機関と連携した子どもへの支援<br>●各学校の特色に応じた予算調整の実施     | 4,262,848   | 4,609,787   | 3          | P61         |
| 30 | 20204040 | 教職員研修事業              | その他      | 子どもたちとともに学び続ける教職員であるために、育成指標に基づくライフステージに応じた教職員研修を推進します。特に、学校全体の教育力向上を目指して、若手教職員やミドルリーダーとなる中堅教職員の資質・能力の向上を図ります。     | ●育成指標に基づく研修を計画、実施(必修研修として37講座140回、希望研修を35講座87回)。特に、1人1台配布されたGIGA端末を効果的に活用し、単方向型(動画配信)及び双方向型オンライン研修の実施を推奨し、教職員が学び続けることができる研修体制を構築<br>●かわさき教師塾「輝け☆明日の先生」を設置し、講話講義等を6回、演習等を6回実施 | 24,119      | 18,893      | 3          | P63         |

| 番号 | 事務事業コード  | 事務事業名           | サービス分類  | 事務事業の概要<br>(簡潔に記載)  | 主な取組の実績   | 事業費<br>(千円) |             | 事業の<br>達成度 | 参考資料<br>掲載頁 |
|----|----------|-----------------|---------|---|---|-------------|-------------|------------|-------------|
|    |          |                 |         |   |   | 予算額         | 決算額<br>(見込) |            |             |
| 31 | 20204060 | 教職員の選考・人事業務     | その他     | 施策推進に資する定数算定を行うとともに、教職員採用についての検討改善等により創意と活力にあふれた優秀な人材を確保します。また、学校における教育活動の充実を図るため、教職員の意欲を引き出す人事異動を実施します。  | <ul style="list-style-type: none"> <li>●指導方法工夫改善対応教員の一部を専科指導担当教員へ振り替える等効果的な定数配当の実施</li> <li>●教科担任制の導入に伴う教員公募や、特別支援学校と特別支援学級間の人事異動による専門性の確保等効果的な教職員配置</li> <li>●少人数指導や年度途中の産休予定者の代替となる人材の前倒し任用等に対応した非常勤講師の配置等適切な教職員配置の実施</li> <li>●教員採用試験説明会でのオンライン活用、デジタルコンテンツやSNSを活用した情報発信等の取組、大学推薦、教職経験、TOEIC等の資格を考慮した特別選考等による人物重視の採用選考の実施、より多様で優秀な人材の確保に向けた、大学3年生を対象とする受験区分の創設</li> </ul>                    | 1,207,993   | 1,283,450   | 3          | P65         |
| 32 | 20204070 | 学校業務マネジメント支援事業  | その他     | 「教職員の働き方・仕事の進め方改革の方針」に基づき、業務の効率化や教職員の意識改革に向けた取組を推進するとともに、円滑な学校運営に資する支援を行います。  | <ul style="list-style-type: none"> <li>●令和4年度の業務改善推進校13校における業務改善活動の実施及び活動報告動画の共有</li> <li>●卒業証書の割印の廃止や、小学校の通知表の所見欄の負担軽減に向けた検討を行うなど、学校の業務改善の取組を推進</li> <li>●教職員勤務実態調査については、国の勤務実態調査の速報値が令和5年5月に公表されることを踏まえ、それを活用しつつ、より本市の実情に即した調査とするため、令和4年度は調査内容や手法の再検討を行い、令和5年度に実施予定</li> <li>●教職員事務支援員又は障害者就業員の全小・中学校配置継続による負担軽減の実施(166校)</li> <li>●部活動指導員の配置拡充による負担軽減の実施(50名)</li> <li>●学校法律相談の実施</li> </ul> | 312,239     | 235,733     | 4          | P67         |
| 33 | 20301010 | 家庭教育支援事業        | 参加・協働の場 | 子どものすこやかな育ちの基盤となる家庭教育を支援する取組として、家庭の役割や子育ての重要性を学び、親同士の交流を促進する学級・講座等を実施します。また、PTA等による家庭教育に関する学習活動を支援します。  | <ul style="list-style-type: none"> <li>●PTAによる家庭教育学級の支援(開催数目標163校に対して実績111校)</li> <li>●全市・各区「家庭教育推進連絡会」の開催による情報共有の推進(実施目標16回に対して実績12回)</li> <li>●企業や地域団体等と連携した家庭教育支援講座の実施(2回)</li> </ul>  | 2,077       | 1,128       | 4          | P71         |
| 34 | 20301020 | 地域における教育活動の推進事業 | 参加・協働の場 | 地域社会で生き生きと活動する市民や、子どもたちの成長を見守り支えている市民の意欲・力を、社会全体の活力や地域の教育力の向上につなげられるよう支援します。また、「子どもの権利に関する条例」に基づき、地域における子どもの育ちや意見表明を促進します。                                    | <ul style="list-style-type: none"> <li>●情報共有の推進や担い手育成等、各行政区・各中学校区地域教育会議の活性化に向けた支援を実施(ネットワーク推進会議2回、交流会1回、養成講座4回)</li> <li>●子ども会議を拡充し、より幅広い子どもの声をしっかり受け止める仕組みを構築</li> <li>●地域のスイミングスクール等と連携した、子どもの泳力向上プロジェクトの実施(参加者数:目標2,830人に対して3,296人)</li> </ul>   | 39,812      | 25,077      | 3          | P73         |
| 35 | 20301030 | 地域の寺子屋事業        | 参加・協働の場 | 地域ぐるみで子どもたちの学習や体験をサポートし、多世代で学ぶ生涯学習の拠点づくりを進めることを目的に、地域が主体となって子どもたちに放課後週1回の学習支援と、土曜日等に月1回の体験活動を行う「地域の寺子屋事業」を推進します。  | <ul style="list-style-type: none"> <li>●地域や学校の状況を踏まえた地域の寺子屋事業の推進(開設数の目標93か所に対して実績89か所)</li> <li>●養成講座等による、地域の寺子屋の運営に関わる人材(寺子屋先生・寺子屋コーディネーター)の確保(目標1,250人に対して実績1,181人)</li> <li>●地域の寺子屋推進フォーラムの開催による普及・啓発</li> <li>●外国につながる児童を対象とした寺子屋分教室の実施</li> </ul>  | 106,933     | 83,072      | 4          | P75         |
| 36 | 20302010 | 社会教育振興事業        | 参加・協働の場 | 教育文化会館・市民館・分館において、市民の自主的・主体的な学びを支援していくため、学級・講座やイベント等を実施・開催します。また、社会教育を担う団体やボランティアの育成・支援、ネットワークづくりなどを通して、学習と活動がにつながる好循環を生み出し、学習や活動を通じた人づくり、つながりづくり、地域づくりを進めます。 | <ul style="list-style-type: none"> <li>●子育てや、平和・人権・男女平等など、市民館における社会教育振興事業の実施(目標300事業に対して実績250事業)</li> <li>●市民が学びにより得た知識や経験等を身近な地域でいかす市民講師の養成講座の実施及び活用</li> <li>●市民提案・協働による課題解決型事業の推進、地域の生涯学習をコーディネートする人材の育成</li> </ul>  | 53,676      | 93,313      | 4          | P77         |

| 番号 | 事務事業コード  | 事務事業名              | サービス分類           | 事務事業の概要<br>(簡潔に記載)   | 主な取組の実績   | 事業費<br>(千円) |             | 事業の<br>達成度 | 参考資料<br>掲載頁 |
|----|----------|--------------------|------------------|--|---|-------------|-------------|------------|-------------|
|    |          |                    |                  |  |   | 予算額         | 決算額<br>(見込) |            |             |
| 37 | 20302020 | 図書館運営事業            | 施設の<br>管理・運<br>営 | 市民の読書要求に応え、市民の課題解決に役立つために、多様な図書館資料を収集・保存・提供するとともに、レファレンスの向上、インターネットやICTの活用、関係機関や学校図書館との連携促進などを図りながら、効率的・効果的な図書館運営を目指します。 | <ul style="list-style-type: none"> <li>●多様な市民ニーズに応えるための資料の充実・タイトル数の確保(89.2万タイトル)</li> <li>●ICT機器を活用した効率的な図書館の運営及び維持管理。電子書籍の試行導入</li> <li>●図書館総合システムの円滑な運用及び次期システムの検討</li> <li>●来館困難者、高齢者、障害者等への支援のほか、有料宅配サービスの実施</li> </ul>   | 981,587     | 866,726     | 3          | P79         |
| 38 | 20302030 | 生涯学習施設の環境整備事業      | 施設の<br>管理・運<br>営 | 市民の生涯学習や地域活動の拠点として、身近な学校施設を有効活用するとともに、資産保有の最適化を踏まえた社会教育施設等の長寿命化を推進するなど、市民の生涯学習環境の充実に図ります。                                | <ul style="list-style-type: none"> <li>●学校施設の更なる活用に向け、特別教室等の利用促進を図るための「Kawasaki教室シェアリング」及び全ての小学校で放課後の校庭を開放する「みんなの校庭プロジェクト」の取組を推進</li> <li>●老朽化した社会教育施設等の環境整備を実施</li> <li>●八ヶ岳少年自然の家の再編整備に向けて、施設の利用状況や建物の老朽化状況等を把握するとともに、市場調査等の民間活用導入可能性調査や現地での再編整備案等の検討を実施</li> <li>●幸市民館・図書館の計画的な施設整備に向けて、基本計画の策定作業に着手</li> <li>●教育文化会館の労働会館との再編整備の推進のため、「(仮称)川崎市民館・労働会館 管理運営計画」を策定するとともに、実施設計を完了</li> <li>●宮前市民館・図書館の鷺沼駅周辺への移転・整備に向け、再開発準備組合による「鷺沼駅前地区再開発計画の再検証結果報告」を踏まえ、必要機能や諸室の規模、配置等の検討を行い、基本・実施設計や管理運営計画に係る取組スケジュールの見直しを実施</li> <li>●市民館・図書館への市民ニーズの広がりや多様化に的確に対応するため、「市民館・図書館の管理・運営の考え方」を策定</li> </ul> | 887,126     | 741,797     | 3          | P81         |
| 39 | 20302040 | 社会教育関係団体等への支援・連携事業 | その他              | 生涯学習団体や主体的に活動する社会教育関係団体に対し、活動や市民との協働によるまちづくりに資する事業等について、補助金の交付や協働での事業実施、求めに応じた助言等を行います。                                  | <ul style="list-style-type: none"> <li>●生涯学習財団に対して補助金の交付や助言等を行い、財団による生涯学習活動の支援、多様な主体と連携などを促進</li> <li>●川崎市PTA連絡協議会等に対して補助金の交付や助言等を行い、児童生徒の健全な育成とPTAの生涯学習活動の充実に寄与</li> <li>●川崎市地域女性連絡協議会に対し、補助金の交付や助言等を行い、平和・人権や男女共同参画等に関する学習・実践、情報交換などの地域活動を充実<br/>(財団補助事業参加者数の目標9,000人に対して実績8,140人)</li> </ul>   | 144,082     | 144,031     | 4          | P83         |
| 40 | 40802020 | 文化財保護・活用事業         | その他              | 市民の郷土に対する認識を深め、文化の向上と発展に貢献するため、文化財の適切な保存と活用を進めます。  | <ul style="list-style-type: none"> <li>●「川崎市文化財保護活用計画」に基づき、「川崎市地域文化財顕彰制度」において、第5回川崎市地域文化財23件を決定(総計213件)</li> <li>●指定文化財の保存修理等については、影向寺所蔵木造聖徳太子立像の保存修理に補助金を支出し、市民ミュージアム所蔵「大師河原の漁撈具」の一部等の修復に対する助言を適切に実施</li> <li>●専門的な知識を有する文化財ボランティアの育成・確保については、感染防止対策を講じつつ、石造物の調査を実施(ボランティアの事業参加日数:28日)</li> <li>●埋蔵文化財の発掘調査等の実施については、周知の埋蔵文化財包蔵地内での開発行為に伴う試掘調査、重要遺跡の内容確認調査、公共事業及び個人住宅建設等に伴う発掘調査等を適切に実施</li> </ul>  | 78,702      | 58,787      | 3          | P85         |

| 番号 | 事務事業コード  | 事務事業名            | サービス分類   | 事務事業の概要<br>(簡潔に記載)   | 主な取組の実績   | 事業費<br>(千円) |             | 事業の<br>達成度 | 参考資料<br>掲載頁 |
|----|----------|------------------|----------|--|---|-------------|-------------|------------|-------------|
|    |          |                  |          |  |   | 予算額         | 決算額<br>(見込) |            |             |
| 41 | 40802070 | 橋樹官衙遺跡群保存整備・活用事業 | その他      | 古代川崎の歴史的文化遺産を後世まで継承するため、市内で初めて国史跡に指定された「橋樹官衙(たちばなかんが)遺跡群」(橋樹郡家跡と影向寺遺跡)の保存整備・活用・調査研究を進めます。  | <ul style="list-style-type: none"> <li>●「国史跡橋樹官衙遺跡群保存活用計画」に基づく保存管理・活用の実施については、有識者会議4回を実施</li> <li>●史跡めぐりで40人、橋樹学講座(2回)で71人、発掘調査現地見学会で185人、講師派遣による講座(4回)で80人が参加。史跡に隣接する橋小学校での出前事業(4クラス120人)を実施し、各種活用事業の参加者目標の360人を上回る496人が参加</li> <li>●「国史跡橋樹官衙遺跡群整備基本計画」に基づき、整備基本計画短期第1期の緑地整備及び建物復元の実施設計を作成するとともに、緑地整備工事を開始(令和5年度完成予定)</li> <li>●橋樹官衙遺跡群の調査・研究の推進については、橋樹郡家跡(第36～38次)と影向寺遺跡(第32～34次)の発掘調査を実施</li> </ul> | 362,933     | 387,084     | 3          | P87         |
| 42 | 40802100 | 日本民家園管理運営事業      | 施設の管理・運営 | 国・県・市の指定文化財25件を有する日本有数の古民家の野外博物館として、その貴重な文化財を適切に保存・活用し、市民の文化・学術・教育の充実を図るため、「日本民家園」を運営します。  | <ul style="list-style-type: none"> <li>●江戸時代の古民家の野外展示(年間来園者数:目標138,000人のところ、猛暑・長雨等の天候不順のほか新型コロナウイルス感染症の影響により実績101,125人、来園者アンケート満足度:目標97%のところ実績91.6%)</li> <li>●伝統的生活文化に関する企画展示(2回)</li> <li>●非来園型サービスとして公式サイトコンテンツ充実を図るとともに、新型コロナウイルス感染症の収束傾向に伴い徐々に講座等を再開</li> </ul>  | 389,210     | 347,002     | 4          | P89         |
| 43 | 40802110 | 青少年科学館管理運営事業     | 施設の管理・運営 | 自然・天文・科学の各分野において、市民への科学知識の普及啓発や科学教育の振興のため、市内唯一の自然科学系の登録博物館として、「青少年科学館」(かわさき宙と緑の科学館)を運営します。 | <ul style="list-style-type: none"> <li>●自然・天文・科学の3分野の実物・標本・模型などの展示の充実(年間来館者数:目標291,000人のところ、新型コロナウイルス感染症の影響により実績249,649人)</li> <li>●自然・天文・科学関係の講座・講演会・実験教室等、教育普及の取組の推進(博物館事業参加者数:目標156,000人のところ、新型コロナウイルス感染症の影響により実績82,487人)</li> <li>●研修会の実施等によるボランティアの育成、市民活動団体等の支援(実施回数:10回)</li> <li>●生田緑地における他博物館や美術館との連携事業の充実(実施回数:2回)</li> <li>●第2期川崎市青少年科学館運営基本計画を策定</li> </ul>                                 | 105,266     | 97,967      | 4          | P91         |

# 主な事務事業の評価結果一覧の見方

令和4年度の主な事務事業の評価結果一覧は、各局が所管する事務事業のうち、「政策体系別計画に記載のある事務事業」及び「施策を推進する経常的な事務事業の中でも特に重要なものや進捗に遅れのあるもの」を取りまとめ、個別に進捗状況をお示ししたものです。

一覧の見方は次のとおりです。

## 令和4年度の主な事務事業の評価結果一覧(総務企画局)

| 番号 | 事務事業コード  | 事務事業名          | サービス分類  | 事務事業の概要<br>(簡潔に記載)  | 主な取組の実績  | 事業費<br>(千円) |             | 事業の達成度 | 参考資料掲載頁 |  |
|----|----------|----------------|---------|---|--|-------------|-------------|--------|---------|--|
|    |          |                |         |   |  | 予算額         | 決算額<br>(見込) |        |         |  |
| 1  | 10101070 | 本庁舎等運営事業       | その他     | 本庁舎等について災害対策活動の中枢拠点としての耐震性能を確保するため、建替えの取組を進めます。   | <ul style="list-style-type: none"> <li>●新本庁舎超高層棟新築工事及び復興新築工事の推進(完成予定だったところ、出来高ペースで92.9%の進捗。新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、新本庁舎の完成時期を令和5年度に延期)</li> <li>●第2庁舎解体・跡地広場整備の設計完了、工事の契約手続着手</li> </ul>  | 34,141,026  | 14,553,298  | 4      | P●●     | ①「政策体系別計画に記載のある事務事業」及び「施策を推進する経常的な事務事業の中でも特に重要なものや進捗に遅れのあるもの」を掲載   |
| 2  | 40205010 | 地域情報化推進事業      | その他     | 市民生活の更なる利便性の向上や地域経済の活性化を図るため、かわさきWi-Fiの運用を行うとともに、地域情報の効果的な発信を図ります。公共データを市民サービスやビジネスにつなげるため、オープンデータの公開を進め、その効果的な利活用を推進します。 | <ul style="list-style-type: none"> <li>●「イベントアプリ」のサービス提供(民間事業者等登録数: 目標350団体、実績354団体)</li> <li>●川崎市LINE公式アカウントやかわさきアプリを活用した情報発信(市LINE公式アカウント友だち登録者数: 目標40,000人、実績43,437人)</li> <li>●更なるオープンデータの公開(公開データセット数: 目標350件、実績378件)(公開データの月平均ダウンロード数: 目標6,250件、実績4,827件)</li> </ul>   | 20,567      | 32,820      | 3      | P●●     | ②市民サービス等の分類を記載<br>※分類区分<br>○施設の管理・運営<br>○補助・助成金<br>○イベント等<br>○表彰・顕彰・認定<br>○参加・協働の場<br>○公聴及び相談・苦情申し立ての聴取等<br>○許認可等<br>○出版物等<br>○その他 |
| 3  | 40205020 | 行政情報化推進事業      | その他     | 「川崎市デジタル・トランスフォーメーション(DX)推進プラン」に基づく情報化関連施策の進捗管理を進めるとともに、マイナンバー制度の効率的・効果的な運用を図ります。   | <ul style="list-style-type: none"> <li>●他の自治体等とのマイナンバーによる情報連携の安定的かつ円滑な運用</li> <li>●区役所・支所へのマイナポイント支援窓口の設置及び健康保険証利用の登録作業の実施(マイナポイント申込等の支援件数: 目標60,000件、実績102,009件)</li> <li>●川崎市デジタル・トランスフォーメーション(DX)推進プランに基づく取組の進捗管理の実施</li> </ul>   | 209,810     | 153,732     | 3      | P●●     | ③事務事業の概要を記載  |
| 4  | 40205030 | デジタル化推進事業      | その他     | スマートフォンなどから24時間申請可能な電子申請システムの構築・運用や、市民ニーズが高い施設・窓口等でのキャッシュレス決済の導入を推進するなど、デジタル技術を活用して利便性の高い行政サービスを提供します。                    | <ul style="list-style-type: none"> <li>●ワークスタイル変革に向けたテレワークパソコンの追加導入(導入数: 1,310台)</li> <li>●新本庁舎における柔軟な働き方の実現に向けた無線LAN環境の整備</li> <li>●NPO法人と連携したスマホ教室等の実施(実施回数: 28回)</li> </ul>   | 209,115     | 154,753     | 3      | P●●     | ④令和4年度に実施した主な取組の実績を定量的な数字を含めて記載  |
| 5  | 40901005 | 市制100周年記念事業    | 参加・協働の場 | 本市が、令和6(2024)年に市制施行100周年を迎えることから、本市のさまざまな魅力、ポテンシャルを市内外にアピールする機会と捉え、各種事業や情報発信等を展開します。                                      | <ul style="list-style-type: none"> <li>●旧電子申請システムの安定的な運用及び新電子申請システム「オンライン手続かわさき(e-KAWASAKI)」の一部稼働開始(電子申請システムの利用件数: 目標400,000件、実績450,379件)</li> <li>●「オンライン手続かわさき(e-KAWASAKI)」等を活用した行政手続の原則オンライン化(電子申請可能な手続のオンライン化率: 目標100%、実績100%)</li> <li>●キャッシュレス決済可能な窓口等の拡大による利便性の向上(施設・窓口数: 目標51、実績51、決済比率: 目標10%、実績10.5%)</li> </ul>                         | 24,772      | 27,238      | 3      | P●●     | ⑤令和4年度の予算額及び決算額(見込)を記載   |
| 6  | 40901010 | シティプロモーション推進事業 | その他     | 戦略的な情報発信等により、市民のシビックプライドの醸成及び対外的な都市イメージの向上を図ります。  | <ul style="list-style-type: none"> <li>●「シティプロモーション戦略プラン」に基づく下記の各取組推進の結果、シビックプライド指標「愛着」は目標6.6に対し結果5.5、「誇り」は目標5.6に対し結果4.9と、いずれも目標を下回った。</li> <li>●PR事業者の活用、メディアミックスによる魅力発信</li> <li>●Twitterや動画等を活用した情報発信</li> <li>●民間企業等との連携によるプロモーションの推進</li> <li>●インフルエンサーと連携した「かわさきスペシャルサポーター」による若年層を対象にした情報発信</li> <li>●川崎市ブランドメッセージのQIGA端末教材の制作・公開</li> </ul> | 33,003      | 26,808      | 4      | P●●     | ⑥事務事業の達成度を記載<br>※達成状況区分<br>1. 目標を大きく上回って達成<br>2. 目標を上回って達成<br>3. 目標をほぼ達成<br>4. 目標を下回った<br>5. 目標を大きく下回った                            |
| 7  | 40901020 | 国際交流推進事業       | イベント等   | 海外からの視察受入れや(公財)国際交流協会との連携により、行政だけでなく市民による国際交流を推進します。  | <ul style="list-style-type: none"> <li>●ウーロンゴン市との交流について、川崎ジュニア文化賞実行委員会と連携し、大賞受賞者と、ウーロンゴン市長及びウーロンゴン市の児童とのオンライン交流会を実施</li> <li>●富川市長をはじめとした訪問団の川崎市長らへの表敬訪問の受入</li> <li>●ザルツブルク市及びびりューベック市との友好都市提携30周年を記念し、市内で周年記念コンサートや宮前図書館と連携した企画展、各区役所コンサートと連携した取組、川崎市とザルツブルク市の小学生の合唱及びメッセージの動画交換等を実施</li> </ul>  | 37,774      | 24,269      | 3      | P●●     | ⑦参考資料における当該事務事業の評価シートの掲載ページを記載   |